

自然の家だより

令和6年3月13日 発行

〒501-2502

岐阜市山県北野2081番地

岐阜市少年自然の家(公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団)

TEL 058-229-2888 / FAX 058-229-2933 / EMAIL gishizen@he.mirai.ne.jp / https://gikyobun.or.jp/gishizen/

春の訪れを喜ぶ ミチタネツケバナ

突然ですが、右の写真を見てください。なんだかバンザイをしているように見えませんか？この花は、ミチタネツケバナです。岐阜ファミリーパーク内、芝生広場の近くで撮影しました。まるで春の訪れを喜んで「やったー！」と両腕を上げているようですね。

今回の「自然の家だより」では、ミチタネツケバナについてご紹介します。



「ミチタネツケバナ」と「タネツケバナ」の見分け方

「タネツケバナ」の仲間はたくさんあります。ここでは、岐阜ファミリーパークで観察できる「ミチタネツケバナ」と「タネツケバナ」の見分け方を2つお伝えします！身の回りに生えているタネツケバナが、どの種類なのか、ぜひ調べてみてくださいね！

見分け方1 果実のつき方を確認しよう！

棒状になっている部分は、タネツケバナに共通する特徴で「長角果」といいます。中には、種子が詰まっています。ミチタネツケバナは長角果が茎に沿ってついているのが特徴です。一方、タネツケバナは茎から離れてついています。



見分け方2 根生葉を確認しよう！

根生葉は、地中にある根から直接生えているように見える葉のことです。大根をイメージすると分かりやすいです。ミチタネツケバナは、花が咲いている時期でもロゼット状の根生葉が残っています。タネツケバナは花が咲く時期には根生葉がなくなっていくます。

ロゼット状ってなんだろう？

葉の生え方の種類のことです。ある一点から四方八方に向かって、地面を這うように伸びる生え方をロゼット状といいます。

